

～ 新宿駅周辺地区協議会 ～

第 46 回地域交流促進を考える分科会 概要

平成 21 年 4 月 8 日(水) 10 時～

角筈地域センター 7 階 B 会議室

出席者:武田、田中、森田、井上、須磨、熊谷、板本、村中

1 リーダー挨拶

2 議事

「わいわい地域交流！」12 号の振り返り

とても良い/指定どおりに出来てよかった/優しい感じでよい/春らしい色になった/いいものが出来た/色々なところに持って行きたい

21 年度事業計画について

「わいわい地域交流！」の発行回数等について

事務局の負担や他の分科会との兼ね合いを鑑み、年 2 回の発行にしたいと事務局より提案し、それに対して委員の意見を出してもらった。

・タウンニュースと合同で発行するという件はどうなったか？ 話としては出ているが、その後進んでいない。今後の両者の会議の具合で決まる。

・「情報紙」ということを考えると、年に 2 回だと情報が遅いし、意味がないのでは？

・「何が目的か？」ということが問題。情報が交換されることが大事。

・人が集まるためにどうしたら良いかを先に検討すべきでは？

・発行回数を減らすことで、紙面がパワーアップするとは限らない。

・年間スケジュールをきちんと組む必要がある。

・4 回は無理だと思うが、3 回くらいが良い。

・もう少しみんなで話し合ったほうが良い。

・情報紙を作るためだけに集まっているわけではない。

・取材に行った先で PR してきたので、ここで発行回数を減らさないほうが良い。

・この情報が氾濫している中、年に 4 回の発行はがんばっていると思う。

・イベント表をもっとうまく使ったほうが良い。 企業はそういうものを求めている。

・イベント表にクーポン券などが掲載されていると、手に取る人が多いと思う。 事務局だけで開拓は難しいので、そういった団体、企業を皆さんで探してきて欲しい。

・4 回本当に発行できるか？

・事務局がどこまでかかわって情報紙を作るかはっきりして欲しい。

・情報紙を発行するばかりではなく、活動を増やしたほうが良いのでは？

・各自の分担をきちんと決めて、やっていけば良い。

・担当者同士が日程を決めて、先方と調整して取材する形が良いのでは？ 取材に関する最初の連絡は事務局で行うほうが良い。

・21 年度は様子見の年にしてやっていく 昨年度も同じようなことを言っていたような気がするが、それだと昨年と変わらない。

・1 回決めたことをひっくり返すのはやめてほしい。

#### 情報紙についてのまとめ

- ・発行回数は年 4 回に決定。
- ・取材、原稿、写真撮影は委員が行う。(原稿は手書きのままで良い)
- ・取材に行くに当たっての最初の連絡等は事務局が行う。
- ・紙面のレイアウトは、従来どおり分科会の会議で決めていく。
- ・情報紙の配布を委員も行う。
- ・取材に行ったりするときに、名札ホルダーや名刺があると良い。

名札ホルダーを用意することは可能。名刺はカレンダーの裏紙等を利用し、地区協用の PC で委員が作成することは可能。

- ・年間を通じたテーマについては、中央公園の年内行事を取り上げる 中央公園をもう一度取り上げる 地域の公園を取り上げる といった案が上げられたが、決定に至らなかったため、次回の会議で決めることになった。

「秋を探そう中央公園！」について  
開催することは決定。詳細は未定。

#### その他として

他にも交流イベントを開催してはどうか？ 大変かもしれないが、新しいことに挑戦するのは良いことだということで開催することとなった。内容については、21 年度アンケート結果を元に、次回の会議で検討および決定する。

#### 3 次回会議日程

日 時 : 4 月 22 日(水) 10:00 ~

場 所 : 角筈地域センター 7 階 キッチンルーム